

施策内容

○急増する訪日外国人観光客のレンタカー利用による事故を防止するため、ETC2.0の急ブレーキデータ等を活用して、外国人特有の事故危険箇所を特定し、ピンポイント事故対策を実施。

対策箇所の現状

○訪日外国人のレンタカー利用の多い空港として、平成29年9月に、新千歳空港、中部国際空港、関西国際空港、福岡空港、那覇空港を選定。

○福岡空港については、空港周辺から出発する外国人観光客レンタカーの急ブレーキデータ等を取得・分析し、外国人特有の事故危険箇所として、2区間を特定。



①日田IC～天瀬高塚IC(福岡方面)本線部

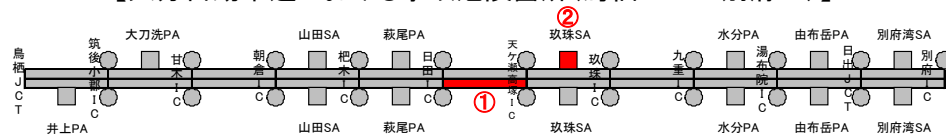
〔・下り勾配が続くカーブ区間に十分に減速しないまま進入して急ブレーキが発生。〕

②玖珠SA(大分方面)入口部

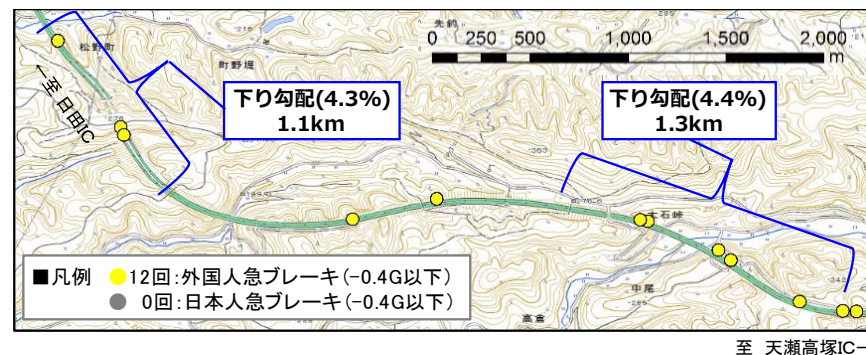
〔・SA入口部手前の見通しの悪い左カーブ区間に十分に減速しないまま進入して急ブレーキが発生。〕

○外国人レンタカー利用者の国籍は、利用が最も多いのは韓国(64%)、次いで中国語(繁体)圏の香港及び台湾等(23%)。

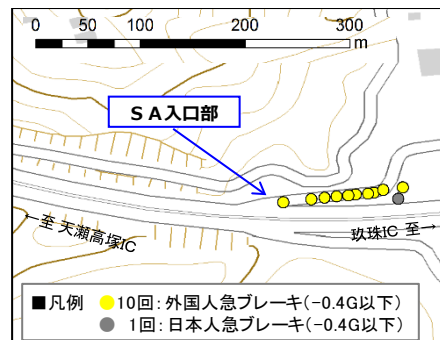
【大分自動車道における事故危険箇所(鳥栖JCT～別府IC)】



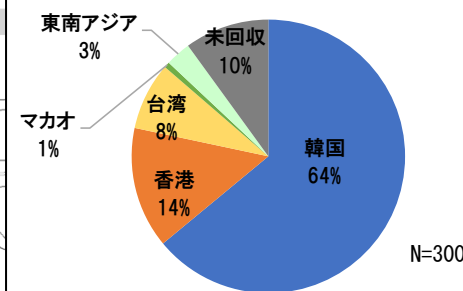
【①日田IC～天瀬高塚IC(福岡方面)本線部】



【②玖珠SA(大分方面)入口部】



【外国人レンタカー利用者の国籍】



大分自動車道におけるピンポイント事故対策結果

平成29年度実験概要

○平成29年12月から韓国語と中国語の簡易情報板の設置やレンタカー貸出時、外国人の立ち寄りの多いサービスエリアでのチラシ配布により注意喚起を実施。

◆簡易情報板による注意喚起

- ・急ブレーキ多発区間に各2基設置
- ・韓国語・中国語(繁体)とピクトグラムを1秒間隔で交互に標示

【①日田IC～天瀬高塚IC(福岡方面)本線部】



【②玖珠SA(大分方面)入口部】



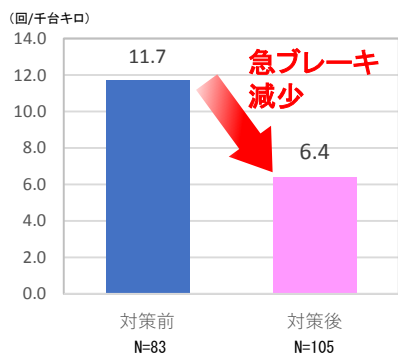
◆注意喚起チラシの配布(中国語版)

平成29年度実験結果

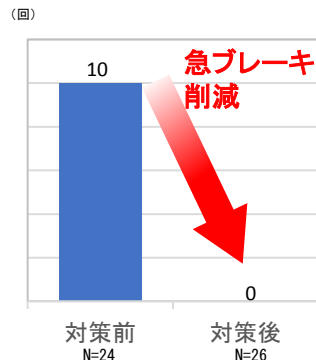
○対策実施により、速度低下や急ブレーキの減少が確認された。平成30年9月中旬より本設置。

◆急ブレーキ対策区間の効果

【①日田IC～天瀬高塚IC(福岡方面)本線部】

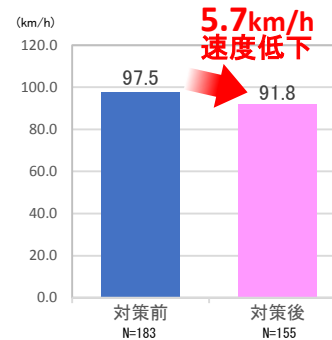


【②玖珠SA(大分方面)入口部】

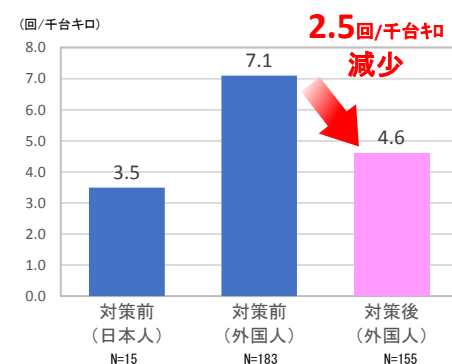


◆大分道全体(鳥栖JCT～別府IC)の効果

【平均速度の比較】



【急ブレーキ回数の比較】



注意喚起看板 設置位置図及びイメージ

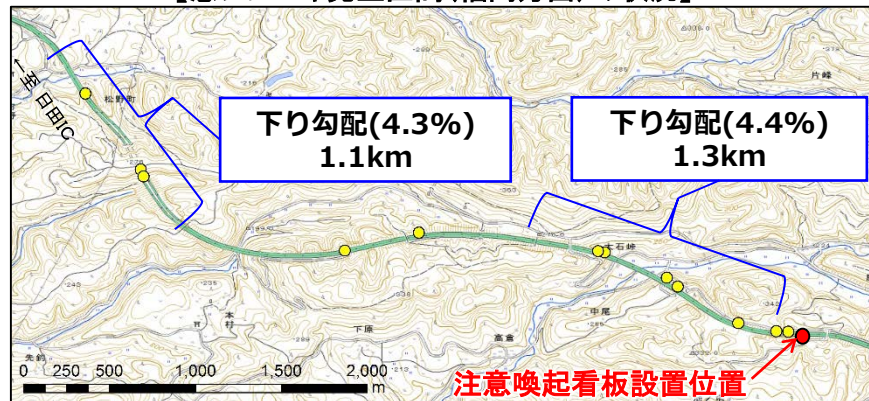
■ 日田IC～天瀬高塚IC(福岡方面)本線部

① 下り坂「速度落とせ」



設置イメージ

【急ブレーキ発生区間(福岡方面)の状況】



- 凡例 ● 12回: 外国人急ブレーキ(-0.4G以下)
● 0回: 日本人急ブレーキ(-0.4G以下)

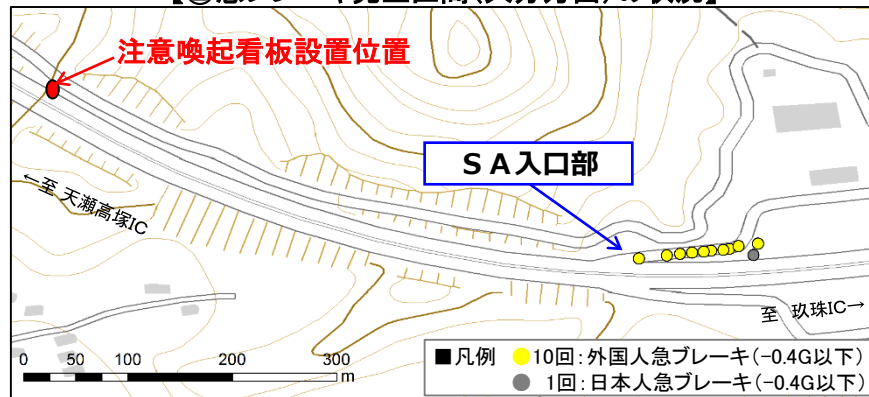
■ 玖珠SA(大分方面)入口部

② パーキング入口「入口注意」



設置イメージ

【②急ブレーキ発生区間(大分方面)の状況】



- 凡例 ● 10回: 外国人急ブレーキ(-0.4G以下)
● 1回: 日本人急ブレーキ(-0.4G以下)

学

東洋大学 情報連携学部 情報連携学科
加知 範康 准教授

宮崎大学 社会環境システム工学科
嶋本 寛 准教授

熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター
円山 琢也 准教授

熊本大学 大学院先端科学研究部(工学系)
溝上 章志 教授

官

九州地方整備局

企画部 情報通信技術調整官、情報通信技術課長

道路部 道路調査官、道路情報管理官、道路計画第一課長、
道路計画第二課長、道路管理課長、交通対策課長